臨床調查個人票

П	新規	更新
\Box	101770	 2 -101

179 ウィリアムズ症候群

■ 行政記載欄 受給者番号 認定 判定結果 | 不認定 ■ 基本情報 姓 (かな) 名 (かな) 姓 (漢字) 名 (漢字) 郵便番号 住所 *以降、数字は右詰めで 西暦 生年月日 月 日 記入 性別 1. 男 2. 女 出生市区町村 姓 (かな) 名 (かな) 出生時氏名 (変更のある場合) 姓 (漢字) 名 (漢字) 1. あり 2. なし 3. 不明 発症者続柄 □ 1. 父 2. 母 □ 3.子 4. 同胞 (男性) □ 5. 同胞(女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方) 家族歷 □ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) □ 10.いとこ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入 続柄 西暦 発症年月 月

社会保障						
介護認定	□ 1. 要介護		②. 要支持	爰	3.	なし
要介護度	1	_ 2	<u> </u>] 4	5
生活状況						
移動の程度	□ 1.歩き回	るのに問題に	はない	2. V <	くらか問題	がある
	□ 3. 寝たき	りである				
身の回りの管理	□ 1. 洗面や	着替えに問題	重はない	2. V \	くらか問題	がある
	□ 3. 自分でできない					
ふだんの活動	□ 1. 問題は	ない			くらか問題	がある
	□ 3.行うこ	とができない	`			
痛み/不快感	□ 1.ない		□ 2. 中程周	度ある	3.	ひどい
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題は	ない		□ 2. 中種	星度	
	□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる					
■ 診断基準に関する事項 A. 症状						
□ 乳幼児期からの成	え長障害・低身長	Ž				
□ 精神発達遅滞						
□ 妖精様顔貌:elfin face(太い内側眉毛、眼間狭小、内眼角贅皮、腫れぼったい眼瞼、星状虹彩、						
鞍鼻、上向き鼻孔、長い人中、下口唇が垂れ下がった厚い口唇、 開いた口など)						
B. 遺伝学的検査						
遺伝子検査の実施		_ 1	. 実施	□ 2. 未実施		
□ ELN を含むプローブで、7q11.23 微細欠失を認める						
<診断のカテゴリー>						
	Definite: 症状があり、ELN を含むプローブを用いた FISH 法により、 7q11.23 微細欠失を認める			2. 非該当		

症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内かつ7行以内			
■ 重症度分類	に関する事項		
□ 小児(18)	歳未満)で、治療中である		
□ 小児(18)	歳未満)で、以下の①~⑨のいずれかが認められる		
□ ①肺高	□ ①肺高血圧症(収縮期血 40mmHg 以上) □ ②肺動脈狭窄症(右室—肺動脈圧較差 20mmHg 以上)		
□ 32度	:以上の房室弁逆流		
□ ⑤圧軸	□ ⑤圧較差 20mmHg 以上の大動脈狭窄		
□ ⑥心室	□ ⑥心室性期外収縮、上室性頻拍、心室性頻拍、心房粗細動又は高度房室ブロック		
□ ⑦左氢	□ ⑦左室駆出率 0.6 以下 □ ⑧心胸郭比 60%以上		
□ 9圧軸	交差 20mmHg 以上の大動脈再狭窄		
□ 成人で先	F性心疾患があり、薬物治療・手術によっても以下の NYHA 分類で II 度以上である		
□ いずれに	も該当しない		
NYHA 分類			
□Ⅰ度	心疾患はあるが身体活動に制限はない。日常的な身体活動では疲労、動悸、呼吸困難、 失神あるいは狭心痛(胸痛)を生じない		
	軽度から中等度の身体活動の制限がある。安静時または軽労作時には無症状。日常労作		
□II度	のうち、比較的強い労作(例えば、階段上昇、坂道歩行など)で疲労、動悸、呼吸困難、		
	安神あるいは狭心痛(胸痛)を生ずる 高度の身体活動の制限がある。安静時には無症状。日常労作のうち、軽労作(例えば、		
□ III 度	平地歩行など)で疲労、動悸、呼吸困難、失神あるいは狭心痛(胸痛)を生ずる		
□ IV 度	心疾患のためいかなる身体活動も制限される。心不全症状や狭心痛(胸痛)が安静時にも		
	存在する。わずかな身体活動でこれらが増悪する		

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり				
開始時期	西暦				
離脱の見込み	□ 1. あり □ 2. なし				
種類	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器				
	□ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器				
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 2. 夜間に継続的	に施行		
	□ 3. 一日中施行	□ 4. 現在は未施行			
	食事	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助	
	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助		
		□ 部分介助	□ 全介助		
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能		
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助	
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能		
	歩行	□ 自立	□ 軽度介助		
	少1]	□ 部分介助	□ 全介助		
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助	一不能	
	着替え	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助	
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助	
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助	

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	印
	※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦 日 月 日
診断年月日	西暦 日 月 日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 <u>「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)</u>を参照の 上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。